校外学習における食物アレルギー・アナフィラキシー発症時の対応・役割分担モデル

資料4-2-1

本分担モデルにおける校外学習の定義 ： ①校外において，食事を伴うもの ②食後2時間以内に校外へ移動するもの

当該児童生徒を絶対に一人にしないこと
第一発見者が児童生徒の異変に気付く

第一発見者が児童生徒の場合は，すぐに周囲にいる大人に知らせる。
（日頃からの指導必須）

協力要請

- 周囲にいる児童生徒に応援要請に行かせる。
- 携帯電話で応援要請する。

管理職
●「緊急対応ファイル」を用意し現場へ

担任教諭
●「緊急対応ファイル」を用意し現場へ

上記以外の引率者
●管理職，担任教諭に連絡のうえ現場へ

◇ 当該児童生徒への対応
役割を決め同時に行うこと。

役割分担を指示
※原則・管理職

- エピペン注射（保管場所は自分のリュック）
- 119番通報
- 内服薬の準備
- 保護者への連絡
- さらに人を集める（携帯電話など）
- AED準備と措置（近くにあれば）
- 心臓マッサージ
- 記録

●その場から動かさない
●頭を高くしない
●足を少し高くする（ショック体位）

・・・・・・「緊急対応ファイル」 内訳・・・・・・
・「緊急時個別対応カード」
・「学校生活管理指導表」（写し）

・・・・・「緊急対応ファイル」保有者・・・・・
校長（副校長）・担任教諭

救急隊に引き継ぐ

●事後対応や措置をする。

●症状・状況・処置等について，時系列で記録し，正確に管理職に報告する。

●調布市教育委員会学務課へ一報を入れる。
TEL042-481-7472

◎ 留意事項
1 児童生徒の安全確保，生命維持最優先
2 冷静で的確な判断と指示
3 適切な対応と迅速で正確な連絡通報

- その他の児童生徒への対応
- 救急車の誘導

【R元年3月改訂】